アルブミン	332500
	担当部署
アルブミン	生化

検査オーダー

患者同意に関する要求事項		特記事項なし
オーダリング手順	1	電子カルテ→指示①→検査→*1.頻用→
	2	電子カルテ→指示①→検査→*2.分野別→生化学→
	3	電子カルテ→指示①→検査→*3.緊急→
	4	
	5	
検査に影響する臨床情報		特記事項なし
検査受付時間		緊急対応(24 時間)

検体採取・搬送・保存

患者の事前準備事項	感染性心内膜炎、敗血症、化膿性髄膜炎等の治療のためにペニシリンＧを高用量静脈内投与する場合がある。 高用量のペニシリン G が投与された場合には、血清アルブミン測定値が実際の値よりも低値となることがあるので注意。
検体採取の特別なタイミング	特記事項なし

	検体の種類	採取管名	内容物	採取量	単位
1	全血	10 青	分離剤	8	mL
2	他材料	10 青	分離剤	8	mL
3	-	-	-	-	-
4	-	-	-	-	-
5	-	-	-	-	-
6	-	-	-	-	-
7	-	-	-	-	-
8	-	-	-	-	-

検体搬送条件	室温
検体受入不可基準	1)採取容器違いの検体 2)バーコードラベルの貼られていない検体 3)固形物 4)粘性のある検体
保管検体の保存期間	冷蔵・2 週間(追加検査については、検査室に要問合せ)

検査結果・報告

検査室の所在地	病院棟 3 階　中央検査部
測定時間	当日中～翌日
生物学的基準範囲	4.1-5.1g/dL 日本臨床検査標準化協議会　共用基準範囲
臨床判断値	設定なし

基準値	単位	g/dL

共通低値	共通高値	男性低値	男性高値	女性低値	女性高値
4.1	5.1	設定なし	設定なし	設定なし	設定なし

パニック値	高値	設定なし
	低値	設定なし
生理的変動要因		特記事項なし
臨床的意義		アルブミンは膠質浸透圧を維持し、また血中のさまざまな物質の輸送体として働く一方、蛋白代謝を反映して栄養状態の指標となる。さらにアルブミンは肝でのみ合成されるので、肝障害の程度を判定するのにも有用である。一方、腎障害など、体外に失われる病態では低下する。 三菱化学メディエンス　検査項目解説改訂第 4 版　5,2008